

林	木	木	林
永	田	小	教
二	の	二	し
前	夏	年	つ
休	休	小	休
み	み	早	み
お	お	川	み
か	か	早	子
わ	わ	川	+
か	か	か	ホ

よみやすいように、と。をつけましょう。・も。もひとますのなかにかきましょう。
おはなししたことは、「」のなかにいれましょう。
「は」と「わ」・「く」と「え」・「お」と「を」とをまちがえずにつかいわけましょう。

だいもくは、「きょうめに、がつこう・がくねん・くみ・なまえは」
だんらくのはじめは、「かならず一じきげてかきはじめ、だんらく」とにぎょうをかえましょう。
しはどのぎょううも二ばんめのますからかきましょう。

3 2 1 「おはなししたことは、「」のなかにいれましよう。

「は」と「わ」・「へ」と「え」・「ね」と「を」とをまちがえずにつかいわけましょう。

月 日 ようび

くどく長くしていってたでうです。

モニとツガは、はばかにてい

ニとを知り玉した。そのはば

見つけたを教えてくやました。

もみもみでモミだそうのが

すゞでモミでモミだそうのが

つがでどうしてモミがモミはは

キないうかで言うと、モミがモミはは

かげかなりのでモミもみでモミはは

さけられごとも、ツカは、とけ

げかなりのでモミもみでモミはは

です。

ぼくはあとうなーくといけで、

よみやすいように、と。をつけましよう。もひとますのなかにかきましょう。
おはなししたことは、「」のなかにいれましよう。

「は」と「わ」・「へ」と「え」・「ね」と「を」とをまちがえずにつかいわけましょう。



6 5 4 ょみやすいように、と。をつけましょう。‘も。もひとますのなかにかきましょう。
おはなししたことは、「」のなかにいれましょう。
「は」と「ね」・「く」と「え」・「お」と「を」とをまちがえずにつかいわけましょう。

卷之三

(不許複製)

4

で もうれしか、 たべす。
木木木
木木木
教しフへ行キタリです。

だいもくは、「さようめに、がつこう・がくねん・くみ・なまえは」さようめにかき、ぶんしょは、「三さようめの」ばんめのますからかきましよう。
だんらくのはじめは、かならず「じさげてかきはじめ、だんらく」とにぎょうをかえましよう。
しほどのぎょうも「ばんめのますからかき、あたまをそろえましよう。